

【授業科目】 検査管理総論 Laboratory Management

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
森本 誠	2年次前期	必修	1	15	講義	あり	卷末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要／臨床検査部門の役割を理解し、検査部門の業務や組織系統、検査情報管理の成り立ちや意義について講義する。また、検査部門の管理運営について、検査部門の組織、人事管理、業務管理、検査機器、消耗品管理、収支管理、安全管理などの知識を含め、廃棄物の管理、検査成績の信頼性を保証するための精度管理、臨床検査技師に必要な法令について教授する。臨床検査技師の業務を総括的に理解することにより、臨床検査技師としての立ち位置を把握し、職業倫理を高め、また、予防医学における臨床検査の重要性と衛生検査所の役割と業務について理解を深めるとともに、臨床検査室および衛生検査所に対する認証制度の重要性について教授する。講義形式で、教科書を使用しながら適宜プリントを配布して行う。*実務経験を持つ教員が授業を進める。課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、全体の総評コメントを掲示にて公開する。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①臨床検査の意義が説明できる。 ②検査室の総合的な管理と運営について説明できる。 ③チーム医療の意義を理解し説明できる。</p>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>第1～8回事前学習：指定の教科書を事前に読み、解らない用語について調べておくこと（各60分）。 第1～8回事後学習：各回での学びを復習することで確認し、解らなかったことは調べ教員に質問する（各60分）。 *その他に、講義で学んだことを振り返るための課題を課すことがある（各120分）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 診断方法の変遷、臨床検査の意義 第2回 医療機関と検査の役割、検査管理の定義 第3回 検査体制の変遷、検査部門の組織、業務 第4回 業務管理、人事管理、検査機器管理、物品管理 第5回 情報管理、財務管理、リスクマネジメント 第6回 安全衛生管理、検査の受付と報告 第7回 インフォームドコンセント、チーム医療、生涯教育、精度管理 第8回 検査情報の判断基準</p>							<p>全て 森本</p>
評価方法 評価基準	<p>成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 講義ごとのレポート（講義内小テスト）30%、定期試験70%</p>							
教科書	『最新臨床検査学講座 検査総合管理学』 医歯薬出版			参考書等		なし		
学生へのメッセージ	<p>臨床検査技師の業務を総括的に理解することは、臨床検査技師としての立ち位置を把握でき、多職種連携の際に役に立ちます。積極的に講義に取り組んでください。</p>							